

安平町デジタル田園都市国家構想総合戦略策定方針

1. 策定の趣旨、国や道の動向

- ◇人口減少や東京圏への人口集中を食い止め、地方創生の推進により、地方を活性化するための基本理念などを定めた「まち・ひと・しごと創生法」に基づき、平成28年1月に「安平町まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定
- ◇その後、令和元年12月に閣議決定された「第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略」や令和2年3月に策定された北海道の「第2期 北海道創生総合戦略」を勘案し、安平町の地方創生の充実と強化に向け、切れ目ない取組みを進めるため、令和3年度からを計画期間とする「第2期安平町まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定
- ◇その後、国では新型コロナウイルス感染症の拡大やデジタルの加速化など社会情勢が大きく変化してきていることを背景に、新たに「全国どこでも誰もが便利で快適に暮らせる社会」を目指す「デジタル田園都市国家構想」の実現に向け、デジタルの力を活用しつつ、地域の個性を活かしながら地方の社会課題解決や魅力向上の取組を加速化・深化することとしており、「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を抜本的に改訂した「デジタル田園都市国家構想総合戦略」が2022年12月に閣議決定しました。

2. 国の「デジタル田園都市国家構想総合戦略」の全体像…別紙

3. 戦略の位置づけ

- ◇まち・ひと・しごと創生法第10条に基づく地方版総合戦略として策定する。
- ◇安平町まちづくり基本条例第24条を踏まえ、町の最上位計画である第2次安平町総合計画（H29-R8）との整合性を図り、重点的・横断的に推進する。
- ◇国の策定手引き（6. 総合計画等との関係）に基づき、単独の地方版総合戦略として策定する。
- ◇計画の名称は、「安平町デジタル田園都市国家構想総合戦略」とし、第2期安平町まち・ひと・しごと創生総合戦略の改訂版とする。

4. 改訂にあたっての基本的事項、ポイント

（1）地域ビジョンの再構築

「地域ビジョン（目指すべき理想像）」について、デジタル化やアフターコロナなどの社会情勢等を踏まえ、地域の個性や魅力を生かした地域ビジョンとして再構築する。

※第2期安平町まち・ひと・しごと創生総合戦略 P32「総合戦略における基本目標の設定」が地域ビジョンに相当

（2）デジタル技術を活用した取組みの追加・検討

現総合戦略に登載する各種施策・取組みについて、デジタルの力を活用して発展させ、かつ、新たなデジタル技術を活用した施策・取組みの追加を行うもの。

（3）推進体制、推進組織

- ・庁内推進体制として、デジタル担当部局との連携により戦略策定を行うとともに、庁内の横連携を図り、総合的に推進していく。
- ・本戦略の効果検証を行う安平町未来創生委員会において、デジタル分野に精通する団体・有識者等の参画を求める。

5. 計画期間

令和5年度から令和9年度の5か年

6. 町民参画

- ①安平町未来創生委員会（複数回開催）
- ②町民意見聴取（パブリックコメント）

7. スケジュール（予定）

年 月		内 容
令和5年5月	未来創生本部会議①	・デジ田総合戦略の策定方針について
6月中旬	未来創生委員会①	・デジ田総合戦略の策定方針について
6月	未来創生本部会議②	・第2期 総合戦略の評価検証
7月	未来創生委員会②	・第2期 総合戦略の評価検証
8月	未来創生本部会議③	・総合戦略改訂（案）
9月	未来創生委員会③	・総合戦略改訂（案）
9月	議会全員協議会	・総合戦略改訂（案）
9月～10月	パブリックコメント	
10月	未来創生本部会議④	・改訂案の最終確認
11月	未来創生委員会④	・改訂案の最終確認
11月～	総合戦略 改訂	
12月	行政報告	・改訂について

6. 総合計画等との関係

6-1 総合計画等と地方版総合戦略との関係

地方版総合戦略は、以下2点の理由から、基本的には単独の地方版総合戦略として策定することが適切です。

- 地方版総合戦略と総合計画等との目的や政策範囲が一致しない。
地方版総合戦略…デジタルの力を活用した地方創生を目的とする。
総合計画等……地方公共団体の総合的な振興・発展等を目的とする。
- 地方版総合戦略は、数値目標や重要業績評価指標（KPI）を設定することが適切だが、総合計画等においては必ずしも設定を行うものではない。

ただし、総合計画やDXの推進に関する計画（〇〇市DX推進計画など）等を見直す際に、見直し後のこれらの計画等が、デジタルの力を活用した地方創生という目的が明確であり、目標や重要業績評価指標（KPI）が設定されるなど、地方版総合戦略としての内容も備えているような場合には、これらの計画等と地方版総合戦略を一つのものとして策定することは可能です。策定、改訂に当たっては、これらの計画等の中から、デジタルの力を活用した地方創生を目的とする施策や重要業績評価指標（KPI）を抽出し、地方版総合戦略とすること等も考えられます。

なお、地方版総合戦略と総合計画等を一つのものとして策定等する場合であっても、法第9条及び第10条の規定により、都道府県の地方版総合戦略は国の総合戦略を勘案して、市区町村の地方版総合戦略は国の総合戦略及び都道府県の地方版総合戦略を勘案して、それぞれ定めるよう努めなければならないことにご留意ください。

総合戦略の基本的考え方

- テレワークの普及や地方移住への関心の高まりなど、**社会情勢がこれまでとは大きく変化している中、今こそデジタルの力を活用して地方創生を加速化・深化し、「全国どこでも誰もが便利で快適に暮らせる社会」を目指す。**
- **東京圏への過度な一極集中の是正や多極化を図り、地方に住み働きながら、都会に匹敵する情報やサービスを利用できるようにすることで、地方の社会課題を成長の原動力とし、地方から全国へとボトムアップの成長につなげていく。**
- デジタル技術の活用は、その**実証の段階から実装の段階に着実に移行**しつつあり、デジタル実装に向けた各府省庁の施策の推進に加え、デジタル田園都市国家構想交付金の活用等により、**各地域の優良事例の横展開を加速化。**
- **これまでの地方創生の取組も、全国で取り組まれてきた中で蓄積された成果や知見に基づき、改善を加えながら推進していくことが重要。**

＜総合戦略のポイント＞

- まち・ひと・しごと創生総合戦略を抜本的に改訂し、**2023年度から2027年度までの5か年の新たな総合戦略**を策定。デジタル田園都市国家構想基本方針で定めた取組の方向性に沿って、**各府省庁の施策の充実・具体化**を図るとともに、**KPIとロードマップ（工程表）**を位置付け。
- 地方は、地域それぞれが抱える社会課題等を踏まえ、**地域の個性や魅力を生かした地域ビジョンを再構築し、地方版総合戦略を改訂。地域ビジョン実現に向け、国は政府一丸となって総合的・効果的に支援する観点から、必要な施策間の連携をこれまで以上に強化**するとともに、同様の社会課題を抱える複数の地方公共団体が連携して、効果的かつ効率的に課題解決に取り組むことができるよう、**デジタルの力も活用した地域間連携の在り方や推進策を提示。**

施策の方向

デジタルの力を活用した地方の社会課題解決

デジタルの力を活用して地方の社会課題解決に向けた取組を加速化・深化

- 1 地方に仕事をつくる**
スタートアップ・エコシステムの確立、中小・中堅企業DX（キャッシュレス決済、シェアリングエコノミー等）、スマート農林水産業・食品産業、観光DX、地方大学を核としたイノベーション創出 等
- 2 人の流れをつくる**
「転職なき移住」の推進、オンライン関係人口の創出・拡大、二地域居住等の推進、地方大学・高校の魅力向上、女性や若者に選ばれる地域づくり 等
- 3 結婚・出産・子育ての希望をかなえる**
結婚・出産・子育ての支援、仕事と子育ての両立など子育てしやすい環境づくり、こども政策におけるDX等のデジタル技術を活用した地域の様々な取組の推進 等
- 4 魅力的な地域をつくる**
教育DX、医療・介護分野DX、地域交通・インフラ・物流DX、まちづくり、文化・スポーツ、防災・減災、国土強靱化の強化等、地域コミュニティ機能の維持・強化等



地方のデジタル実装を下支え

デジタル実装の基礎条件整備

デジタル実装の前提となる取組を国が強力に推進

- 1 デジタル基盤の整備**
デジタルインフラの整備、マイナンバーカードの普及促進・利活用拡大、データ連携基盤の構築（デジタル社会実装基盤全国総合整備計画の策定等）、ICTの活用による持続可能性と利便性の高い公共交通ネットワークの整備、エネルギーインフラのデジタル化 等
- 2 デジタル人材の育成・確保**
デジタル人材育成プラットフォームの構築、職業訓練のデジタル分野の重点化、高等教育機関等におけるデジタル人材の育成、デジタル人材の地域への還流促進、女性デジタル人材の育成・確保 等
- 3 誰一人取り残されないための取組**
デジタル推進委員の展開、デジタル共生社会の実現、経済的事情等に基づくデジタルデバйдの是正、利用者視点でのサービスデザイン体制の確立 等



地域ビジョンの実現に向けた施策間連携・地域間連携の推進

＜モデル地域ビジョンの例＞

■ スマートシティスーパーシティ  スマートシティ AiCT (福島県会津若松市)	■ 「デジ活」中山間地域  担い手減少に対応した自動草刈機の導入	■ 産学官協創都市  データを活用したスマート農業の取組 (高知県・高知大学)
■ SDGs未来都市  地域交通システムやコミュニケーションロボットの活用 (宮城県石巻市)	■ 脱炭素先行地域  ハイオマス発電所稼働による新産業の創出 (岡山県真庭市)	

＜重要施策分野の例＞

■ 地域交通のり・デザイン  自動運転バスの運行 (茨城県境町)	■ こども政策  保健師等とのオンライン相談 (山梨県富士吉田市)	■ 教育DX  オンラインによる遠隔合同授業 (鹿児島県三島村)	■ 地域防災力の向上  GPS除雪管理システムの導入 (山形県飯豊町)
■ 遠隔医療  医療機器装備の移動診療車 (長野県伊那市)	■ 地方創生テレワーク  空き蔵を活用したサテライトオフィスの整備 (福島県喜多市)	■ 観光DX  観光アプリを活用した混雑回避・人流分散 (京都府京都市)	

地域ビジョン実現を後押し

＜施策間連携の例＞

関連施策の取りまとめ	重点支援	優良事例の横展開	伴走型支援
✓ 関係府省庁の施策を取りまとめ、地方にわかりやすい形で提示	✓ モデルとなる地域を選定し、選定地域の評価・支援	✓ 他地域のモデルとなる優良事例の周知・共有、横展開	✓ ワンストップ型相談体制の構築や地方支分部局の活用等による伴走型支援

＜地域間連携の例＞

デジタルを活用した取組の深化	重点支援	優良事例の横展開
✓ 自治体間連携の枠組みにおけるデジタル活用の取組を促進	✓ 国が事業の採択や地域の選定等を行う際に、地域間連携を行う取組を評価・支援	✓ 地域間連携の優良事例を収集し、メニューブック等を通じて広く周知・共有